

経皮投与製剤FG

FGリーダー: 杉林堅次(城西大学副学長・城西国際大学副学長)

FG組織委員:

正木 仁(東京工科大)

内野 智信(静岡県立大)

佐野友彦(花王)

道中 康也(久光製薬)

徳留 嘉寛(城西大)

FG活動目的:

経皮投与製剤FGでは大学(薬学・薬学以外)研究者, 製薬企業研究者, 病院薬剤部研究者, 化粧品企業研究者など, 様々な分野で活躍している研究者を集め, 現在と今後の経皮投与製剤の理論的かつ実際の側面を検討し, 学会員にフィードバックして, 日本薬剤学会における経皮投与製剤研究をさらに活性化することを目的としています.

経皮適用製剤を扱っている多くの研究者, 製薬会社の研究員, 化粧品会社の研究員が共存することで, 幅広い視点での議論や, 交流の場を設定します.

活動概要

2014年度の活動実績:

- 第6回経皮FGシンポジウムを京王プラザホテル(新宿)にて開催した(11/10).
参加人数(有料参加者)は140名, 談話会は43名であった.
- ライフサイクルマネジメントを考慮し, 医薬品の売上, 化合物の物性などの調査を開始した.

表 第1回～第6回 経皮FG開催概要

	場所	参加人数(備考)
第1回(2009年11月26日)	汐留(東京)	180
第2回(2010年11月8日)	川崎市産業振興会館	200(院内製剤・調剤FGとの合同)
第3回(2011年11月22日)	川崎市産業振興会館	190
第4回(2012年11月19日)	きゅりあん(大井町)	180
第5回(2013年11月28日)	きゅりあん(大井町)	140(学生除く)
第6回(2014年11月10日)	京王プラザ(新宿)	140(学生除く)

2015年度の活動予定:

- 第7回経皮FGシンポジウムをTDDS世界シンポジウム2015(主催:外用製剤協議会)と合同で開催予定(9月末, 東京での開催を予定).
- シンポジウムにはProf. Richard Guy (Univ. Bath), Dr. Caroline Strasinger (FDA)を招待する予定.
- 英国のSkin Forum(Prof. Jonathan Hadgraft (Univ. Lodon))との連携も模索中.
- 投与経路変更医薬品の提案について, 積極的に調査を進め, 提案する.



Prof. Richard Guy
(Univ. Bath)



Dr. Caroline Strasinger
(FDA)



Prof. Jonathan Hadgraft
(Univ. Lodon)

本FGの活動の特徴

様々なバックグラウンドを持つ研究者(製薬, 化粧品, 原料, 病院薬剤師, 行政関係者など)が一同に集い, 議論することは極めて稀です.

この状況を楽しんで頂けるように, シンポジウムだけではなく, 必ず談話会を開催しています. 今後も, FG参加者同士の情報共有ができるような場を設けたいと考えております.

会員の皆様からのご意見・ご参加をお願い致します.